

語呂合わせで覚える

ルワンダ語の数字（1～9）

2019.1.27.

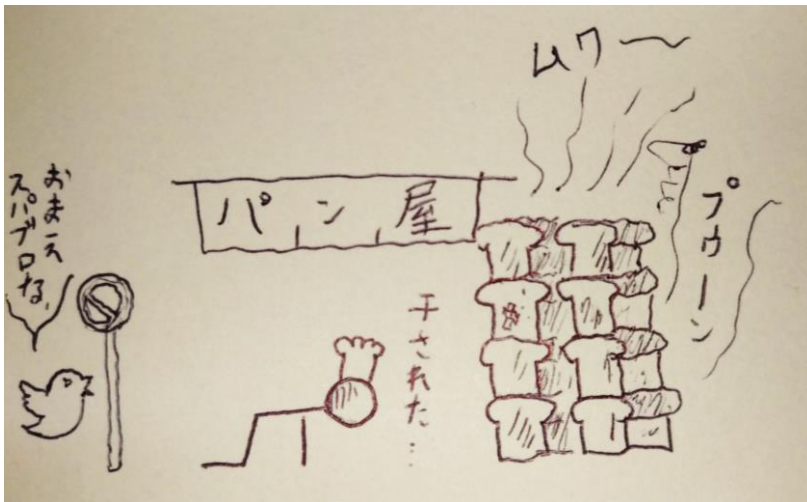
@rwanda_go_tan

リムゆえ、カビ入りが立つ。

RIMWE,
リムウェ(1)

KABIRI,
カビリ(2)

GATATU.
ガタトゥ(3)



※説明

リムられた(フォロー解除された)ために、
パン屋の業界からハブられ、おかげでパンが売れ残り
カビ入りのパンが、うず高く積みあがってしまった。

かね た がんたん
金が足んぬ、元旦だと。

KANE, GATANU, GATANDATU.
カーネ(4) ガターヌ(5) ガタンダトゥ(6)



※説明

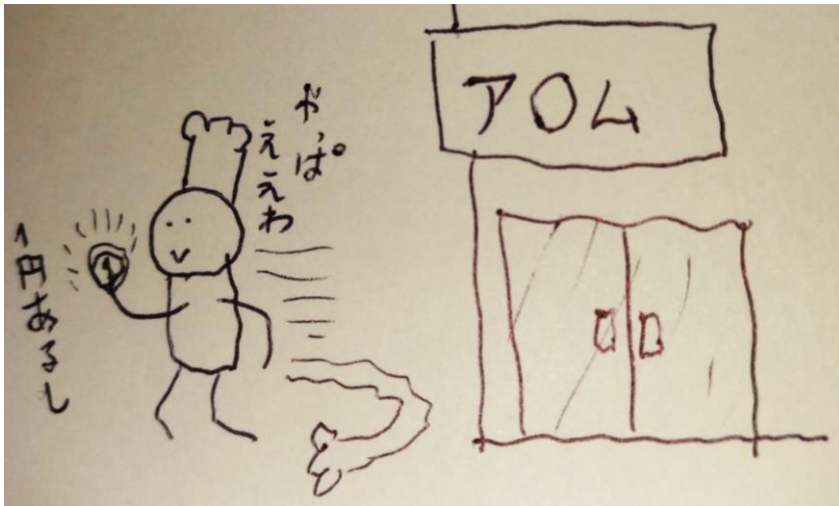
パンが売れなくなったので、お金が足りず
正月のモチを買えない。
このままでは、元日を迎えられそうにない。

か
借りんでええ, う~む, な~に, 1円だ!

KARINDWI,
カリングウィー(7)

UMUNANI,
ウムナーニ(8)

いちえん
ICYENDA.
イーチェンダ(9)



※説明

借金しようかと思ったが, よく考え直して,
借りずに何とかやっていけると思った。
1円あるから。

あなたの脳細胞に 「ルワンダ語の数字ニューロン」 を作るための簡単な手順

手順その1：

まず、3つの語呂の文章を覚えます。各文ごとのストーリーを描いたイラストをイメージしながら、文を覚えてください。（＝右脳を使う）
毎回、思い出すのに時間がかかってもいいので
3つの文を、見ないで暗唱できるようになりましょう。

やってみましょう：

3つの語呂の文章を、何も見ないで思い出せますか。
瞬発的にスラスラ言えなくても構いません。
時間がかかってもいいので、3つとも正確に思い出せますか。

今のあなたの脳の状態：

3つの文を暗記したので、あなたの脳の中には、
「語呂1」「語呂2」「語呂3」のニューロンができました。
（まだ、数字のニューロンはありません。）

「語呂1」ニューロン

リムゆえ、カビ入りが立つ。

「語呂2」ニューロン

カネが足んぬ、元旦だと。

「語呂3」ニューロン

借りんでええ、う～む、な～に、1円だ！

赤で囲ったものがニューロン、青い線がシナプスです。
ニューロンどうしは、互いにシナプスでつながっています。

手順その2：

それぞれの語呂の文章に、ルワンダ語の数詞が3つずつ含まれています。語呂の文章をもとにして、その文に含まれる3つの数詞を思い出せるようになりましょう。

なお、この時点ではまだ、ルワンダ語の各数詞がどの数を表すかは気にしなくて大丈夫です。例えば、「rimwe」という数詞は覚えますが、それが「1」という数を意味することは、まだ知らなくてOKです。

やってみましょう：

3つの語呂の文に対して、数詞を3つずつ、何も見ずに言えますか。思い出すのに時間がかかっても構いません。ゆっくりでも正確に思い出せるようにしてください。

今のあなたの脳の状態：

3つの語呂の文を起点として、各3つの数詞を暗記したので、あなたの脳の中には、合計9つの「数詞」ニューロンができました。

リムゆえ、カビ入りが立つ。

「数詞」
ニューロン

RIMWE
リムウェ

KABIRI
カビリ

GATATU
ガタトゥ

カネが足んぬ、元旦だと。

「数詞」
ニューロン

KANE
カーネ

GATANU
ガタヌ

GATANDATU
ガタンダトゥ

借りんでええ、う～む、な～に、1円だ！

「数詞」
ニューロン

KARINDWI
カリングウィー

UMUNANI
ウムナーニ

ICYENDA
イーチェンダ

手順その3：

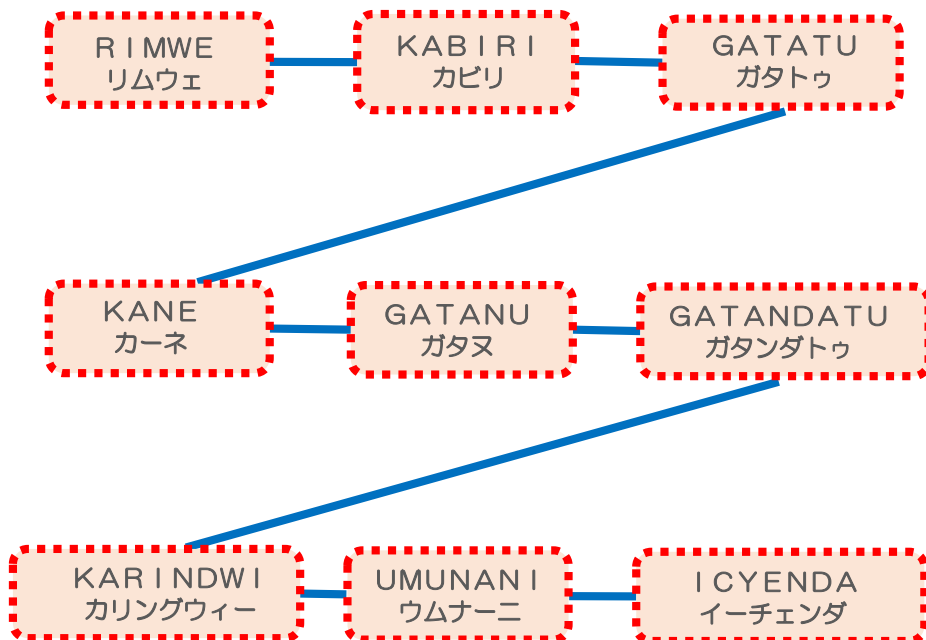
ルワンダ語の数詞を、3つずつ順番に暗唱してみましょ。う。
1～3まで、4～6まで、7～9まで の順番に暗唱します。
数詞を思い出せないときは、語呂の文を代わりに思い出します。
最初はゆっくりと、次第にできるだけ速いスピードで、
1から9までの数詞を暗唱してみます。

やってみましょ：

1から9までの数詞を、それなりの速さで暗唱できますか。
それができたら、次に、9から1まで逆の順番に暗唱できますか。

今のあなたの脳の状態：

9つの「数詞」ニューロンの間に、順序立ててお互いをつなぐ
シナプスが生まれました。
隣り合った数どうしの数詞ニューロンは、互いに強く連結されています。



手順その4：

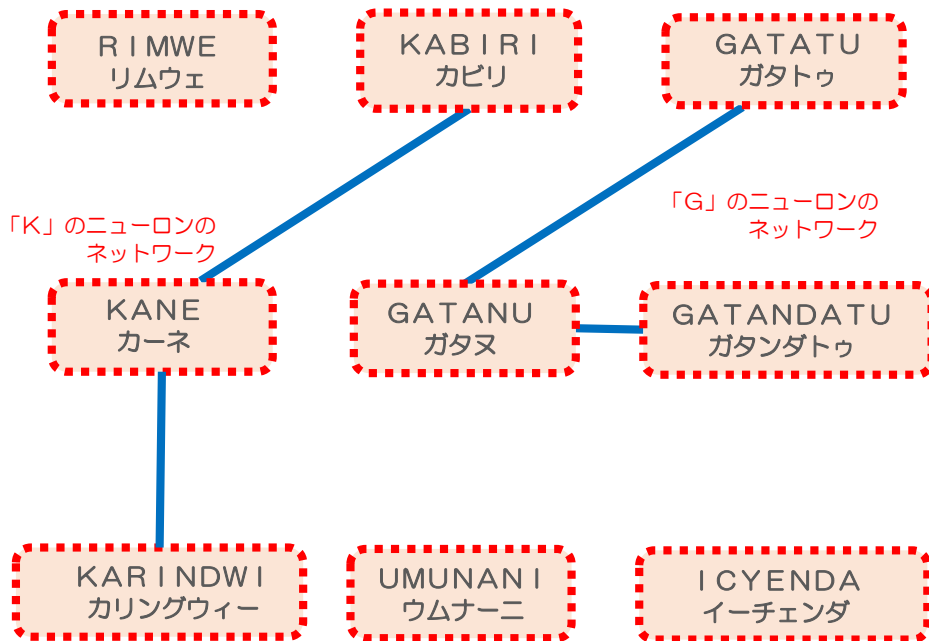
特にまぎらわしい数詞どうしを、区別できるようになりましょう。
図の中で、9マスのうち「Kで始まるもの」の位置を、視覚的に覚えてください。3つあります。（Kグループと呼びます）
また図の中で、9マスのうち「Gで始まるもの」の位置を、視覚的に覚えてください。3つあります。（Gグループと呼びます）

やってみましょう：

Kグループの3つの数詞を、小さいものから大きいものへ暗唱してください。カビリ、カーネ、カリングウィーです。暗唱する際に、それが9マスのうちどの位置にあるかをイメージしてください。（右脳を使う）
同じように、Gグループの3つの数詞を、小さいものから大きいものへ暗唱してください。ガタトゥ、ガタヌ、ガタンダトゥです。暗唱する際に、それが9マスのうちどの位置にあるかをイメージしてください。
これらを、素早く言えるようになってください。

今のあなたの脳の状態：

紛らわしいニューロンどうしが分離して、互いに明確に区別されました。



手順その5：

今までは、図の横向きに順番に、数詞をたどっていましたが
今度は、図のタテ向きに数詞をたどってみましょう。

1→4→7， 2→5→8， 3→6→9

やってみましょう：

タテ向きの上から下への順で、それなりの速さで暗唱できますか。
それができたら、次に、タテ向きの下から上への順で暗唱できますか。

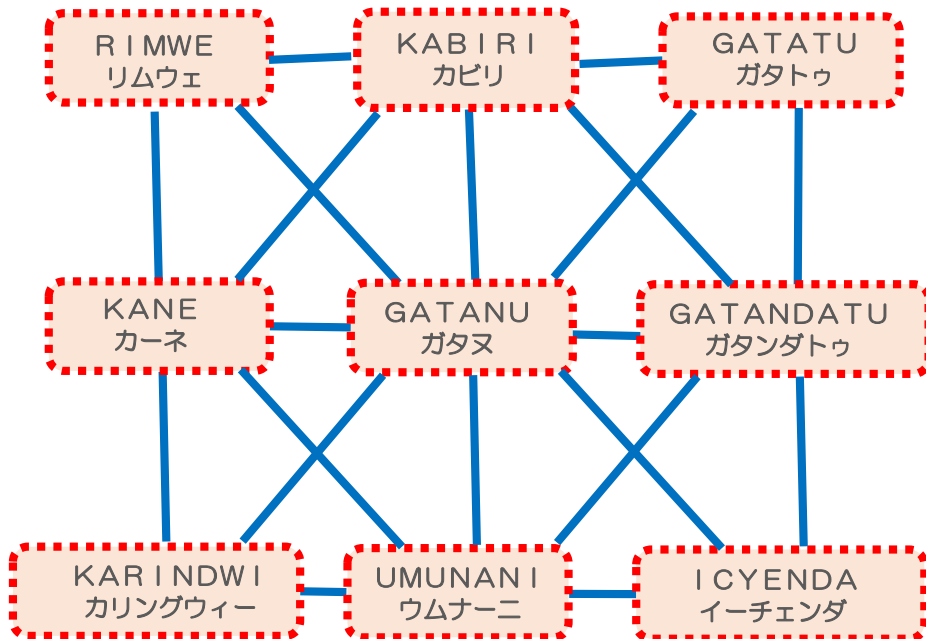
(7→4→1， 8→5→2， 9→6→3)

それができたら、次に、9マスの盤面上で、縦・横・斜めに1歩ずつ自由に歩き回ってみてください（チェスのキングのような動き方で）。例えば1→2→4→8→6のように、ランダムに歩き回ります。1マスずつ移動しながら、対応する数詞を思い出してください。

もし難しいと思ったら、ひとつ前の手順をやり直してください。

今のあなたの脳の状態：

9つの「数詞」ニューロンの中に、ヨコ方向だけでなく
タテ方向およびナナメ方向の連結シナプスも張り巡らされました。
これにより、「数詞」ニューロン同士が互いに深く結びついた
強いネットワークが形成されました。



手順その6：

現実世界の数字を、1ケタずつ、ルワンダ語の数詞で読み下してみましょ。たとえば今年が2019年であれば、2, 0, 1, 9 を1桁ずつ読んでみてください（0はzeru ゼル）。

あなたが生まれた年も4桁で読んでみてください。あなたの郵便番号や、電話番号はどうですか。どれぐらいのスピードで円周率を読めますか。

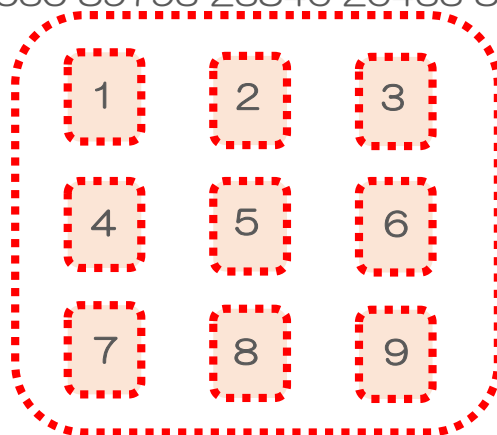
※参考：円周率=3.14159 26535 89793 23846 26433 83279...

今のあなたの 脳の状態：

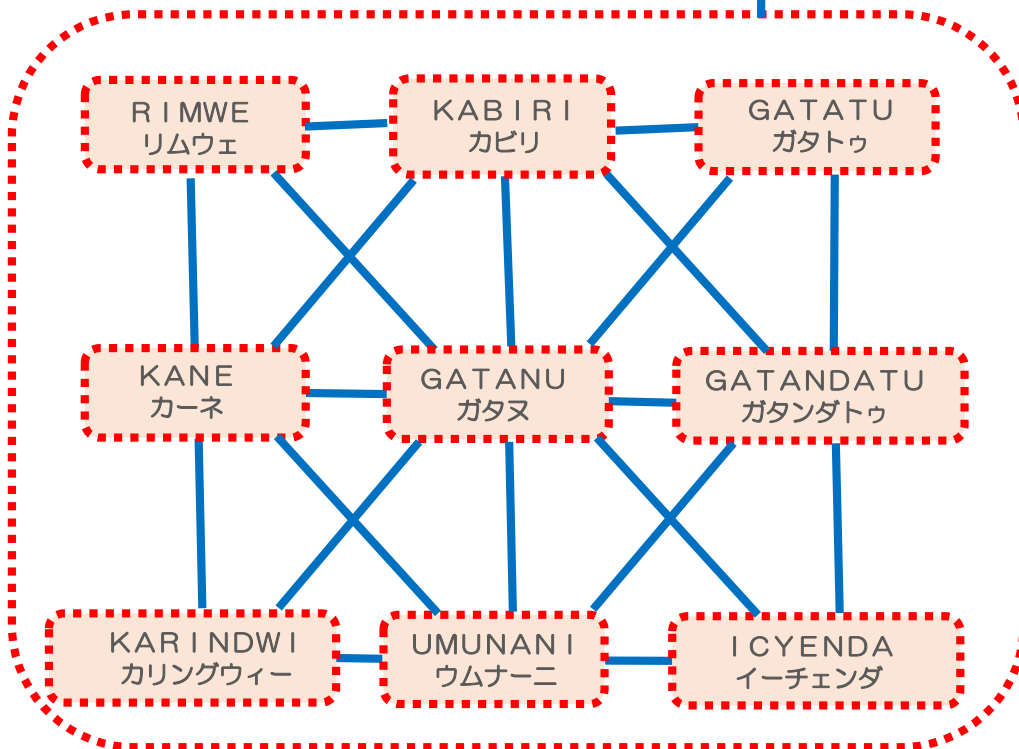
ルワンダ語の

「数詞」ニューロンと、
脳内にもとからあった1～9の

「数字」ニューロンとの間に、
シナプスのつながりが
できました。これにより、
現実世界の数字を、ルワンダ語で
捉えることができるように
なりました。



「数字」
ニューロンの
ネットワーク



「ルワンダ語の
数詞」
ニューロンの
ネットワーク